Saturday 1/20

多久のためにさらなる奉仕を誓う
祝・結成50周年“多久ライオンズクラブ”

◀多久高校吹奏楽部の演奏で彩りを添えました。

▲挨拶をする嶺川会長

多久ライオンズクラブ（嶺川日出一（みねかわひでいち）会長）の結成50周年記念式典が、多久中央公民館で開かれ、横尾市長や市内外のLC関係者ら約150人の出席者が節目の年を祝うとともに、さらなる発展を誓い合いました。多久LCは1966年10月に地域社会の奉仕を目的に結成され、献血や献眼、臓器移植の支援に尽力されてきました。

嶺川会長が「この半世紀、色々な困難に直面しましたが、ライオンズクラブの誇りと絆を通じて、ふるさと多久のさらなる奉仕活動に努めたい」とあいさつ。

50周年記念事業として、佐賀県アイバンク協会への助成金や多久聖廟周辺の整備、放課後児童クラブへの助成、多久高校への寄付などさまざまな事業が報告されました。

Friday 1/26

全国初の試み!!
児童生徒の学び方と教職員の働き方改革プロジェクト協定締結式

▲今回のプロジェクト内容を話す横尾市長

▲左からソフトバンク コマース＆サービス株式会社 エデュケーションＩＣＴ推進室室長　古泉（こいずみ）　学（まなぶ）さん、横尾市長、日本マイクロソフト株式会社 執行役員常務 パブリックセクター事業本部長　佐藤（さとう）　知成（ともなり）さん

市内全義務教育学校の情報セキュリティ強化と校務システム導入にあわせて「児童生徒の学び方と教職員の働き方改革プロジェクト」として日本マイクロソフト株式会社、ソフトバンク コマース＆サービス株式会社と多久市が協定を結びました。

このプロジェクトでは、クラウドサービスや電子黒板、タブレット端末を使用することで、子どもたちの協働学習の時間を増やし、多久市が目指す自己肯定感に満ちた子どもの育成を進めます。さらには自作教材（学習プリント、アニメーション資料等）や校務文書を市内全ての学校で共有することで教職員の業務負担を軽減し、働き方改革にも取り組みます。

Sunday 1/28

大切な多久の宝を守ろう！
文化財防火演習を行いました

◀▲放水する消防団員

世界最古の木造建造物であった法隆寺（奈良県斑鳩町）の金堂が、昭和24年１月26日に炎上し焼損したことから１月26日を「文化財予防デー」と定め、文化財を火災、震災などの災害から守る活動や文化財愛護意識を高める取り組みが全国で行われています。

これにあわせ多久市では、教育委員会、消防署と消防団が合同で防火訓練を多久聖廟で行い、聖廟周辺で出火した想定で、教育委員会が通報と初期消火訓練を、消防署と消防団が連携し中継送水訓練を行いました。

「文化財を守る」という市民みなさんの心構えが大切です。多久市の宝を後世に残すようご協力をお願いします。